

脱炭素社会に対応した新たな事業展開

会社名 株式会社リュウクス
 所在地 沖縄県うるま市字州崎7番地22
 従業員 6名
 資本金 9570万円
 売上高 2億4千万円(2021年度)
 業種 その他の製造業



支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標

Before

- 石炭火力発電所のフライアッシュ(石炭灰)を原料に、コンクリート混和材を製造・販売してきたが、世界的にも石炭灰事業が縮小する中、新たにバイオマス発電所で発生する『バイオマス燃焼灰』を使用し、『泥土改質材』としてリサイクルする事業を立ち上げたい。しかし、事業戦略と知財戦略に不安がある。

支援を受けてできるようになったこと

After

- 展示会出展による引き合いやHP新設によるアクセス増加、メディア露出等の結果、引き合いも増加した。
- 重点支援を受ける中、研究開発が進展し、研究開発パートナーが増えた他、販路・販売パートナーの獲得にもつながった。

今後の事業展開の展望

Future

- 脱炭素社会に向けて、石炭灰を利用した既存事業から、バイオマス燃焼灰を活用した新規事業への転換を図っていく。
- 重点支援を受けた新規事業について足元、売上が伸びており、事業の柱に成長していくことが期待される。

重点支援を受けた事業や商材



当社では、木質バイオマス発電所から産生されるフライアッシュの性質を生かした、バイオマスフライアッシュの活用に取り組んでいる。

なお、既存事業である石炭灰を活用したコンクリート混和材では沖縄県を中心に建築・土木工事で多くの採用実績がある。



重点支援を実施するにあたって整理した課題

取り組んだ課題	課題に取り組んだ背景・理由
事業運営ノウハウの効率的な入手	新規事業に取り組むにあたり、産業廃棄物リサイクル・泥土改質材のノウハウ・知見の入手が必要
全国展開事業計画の策定	沖縄地区で確立する「泥土改質材」の製造・販売を全国展開するための事業化計画の検討が必要
あらゆる燃料材灰に対する知財化	バイオマス燃料材は多岐にわたるため、既に取り組んでいる燃料材以外の燃料材灰に対する知財面の検討、権利取得が急務
パートナーとの協力体制構築に係る契約等の法務	製造や販売に係るパートナー企業を獲得していく必要があるが、自社の事業戦略や知財戦略に照らして適切な体制を構築するための契約条件や法務戦略が未検討



重点支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと

支援を受けた事項	支援を通じてできるようになったこと	活用専門家
事業運営ノウハウの効率的な入手	<ul style="list-style-type: none"> 業界知見の獲得やバイオマスに係るノウハウの獲得 当社のビジネスモデル上不可欠な地域エコシステムを具現化したものとして、「沖縄県環境リサイクル推進協議会」を琉球大学内に設置し、当社が事務局を務めることとなった(協力機関や協力会社との関係強化) 	中小企業診断士 弁理士
全国展開事業計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> 上記と関連し様々なビジネスモデルの検討を行う中で、事業計画が具体化した 今後の事業計画については、複数の展示会で紹介しており、好感触を得ている。具体的には商社や代理店等の販売パートナーの候補が見つかった。 	中小企業診断士 デザイナー
あらゆる燃料材灰に対する知財化	<ul style="list-style-type: none"> 自社のビジネスモデル上、重要となる土壌改良剤についての特許権を取得した他、必要な出願を行った。 	中小企業診断士 弁理士
パートナーとの協力体制構築に係る契約等の法務	<ul style="list-style-type: none"> パートナー候補との実際の商談の中で、具体的な契約条件を検討したことで、今後も活用可能な契約書や、法務上の知見を蓄積することができた。 	中小企業診断士 弁理士

支援チーム紹介

リーダー専門家: 中小企業診断士 中谷豪太

活動専門家: デザイナー、弁理士等

知財総合支援窓口担当者: 沖縄県知財総合支援窓口 原田昭明

PO(プログラムオフィサー): 中泰広